

行田 歴史系譜 323

資料がかたる
行田の歴史 23

忍藩主の領内巡見と鷹狩り初めてのお国入りはイベント目白押し

忍城周辺の沼地には江戸時代も渡り鳥が多く飛来し、かつて徳川家康も鷹狩りに訪れました。享保3年(1718)に大名自身による領内での自由な鷹狩りが許可されると、忍藩主阿部家も忍領で鷹狩りに興じるようになります。

阿部家の家譜「公餘録」をひもとくと、鷹狩実施のタイミングが歴代当主の初めての忍領への国入り時に特に集中していたことが分かります。これは江戸藩邸で生まれ育った嫡子が藩主となって初めての参勤交代の際に鷹狩りを挙行していたことを意味します。

例えば、阿部正由は寛政8年(1796)9月1日に初めての国入りを果たし、同月10日以降には乗馬で忍城周辺の領内村々に出掛ける巡見が行われ、各地では名主たちの案内で名所などを巡りました。さらに9月下旬から江戸へ帰る直前の11月下旬まで、正由は巡見の間を縫って領内へ鷹狩りに出掛

けています。この際に正由が鷹狩で捕らえた獲物を記録した「千歳鷹得物覚」を見ると、鴨・鷺の仲間に加え、鴛鴦・鵜・雁・鴨・雉・鶉・菱喰など計62羽が書き上げられ、中でも「千歳」と名付けられた鷹は47羽もの鳥を捕らえていたことが分かります。

正由のように阿部家の歴代当主は国入り時にその姿を積極的に領民たちの前に現していました。その姿勢は、たとえ幕府の要職を全うするためにも、領民たちに慕われる「殿様」であろうと努めた藩主の思いのあらわれとみることもできます。

(郷土博物館 澤村怜薫)



伝 忍城主阿部侯筆「鷹画」
(個人蔵 行田市郷土博物館保管)

はじめまして



令和2年4月生まれのお子さんを募集します

- 2月1日(月)～26日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、3月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和2年2月生まれのおともだち



保住 莉那ちゃん (榎田町)
令和2年2月18日生まれ
父・京吾さん 母・紋佳さん
「可愛い笑顔に癒やされるよ!大好き♡」



根岸 紘人ちゃん (城西)
令和2年2月26日生まれ
父・一真さん 母・裕美さん
「3兄弟仲良く元氣いっぱい育ってね」



白根 桜音ちゃん (持田)
令和2年2月5日生まれ
父・悠多さん 母・美保さん
「みんなの笑顔と癒やしの源♡元氣に大きくなろうね☆」



中島 千咲ちゃん (榎田町)
令和2年2月24日生まれ
父・賢さん 母・真樹さん
「パパとママの宝物♡大好きだよ」



内野 結翔ちゃん (埼玉)
令和2年2月13日生まれ
父・裕基さん 母・未緒莉さん
「いつも笑顔に癒やされているよ!生まれてきてくれてありがとう!」



木村 結斗ちゃん (南河原)
令和2年2月20日生まれ
父・充さん 母・裕美さん
「みんなを笑顔にしてくれて、ありがとう♡」

今月の表紙

1月10日、産業文化会館ホールで「令和3年行田市新成人を祝う会」が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で、午前と午後の2部制で開催し、また参加することが困難な方向けに式典の様子をライブ配信しました。会場周辺では、晴れ着に身を包んだ新成人たちが、久しぶりに再会する旧友と近況を報告し合ったり、写真を一緒に撮ったりと笑顔が溢れていました。



目指せ!友だち登録10,000人!
(現在4,900人)

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい植物油インキ

市報ぎょうだは再生紙を使用しています